

日文試題

一、「諺」「慣用句」「擬声語、擬態語」

問1. 次の諺に 適切な言葉を入れなさい。(10%)

- ① ___に念仏 ② ___の背比べ ③寝耳に ___ ④ ___の皮算用 ⑤灯台もと ___
 ⑥門前の ___、習わぬ経を読む ⑦負うた子に教えられて ___ ⑧二階から ___
 ⑨知らぬが ___ ⑩案ずるより ___が易い

問2. (a)~(j)の文に入る慣用句を、①~⑩から選びなさい。(10%)

- (a)禁煙している人の前でタバコを吸ったりしては ___ ようなものだ。
 (b)雪が降って練習を休みたがる子供を、 ___ 送りだす。
 (c)両国間の摩擦が大きくなならないうちに ___ べきだ。
 (d)結婚相手も決まっていないのに、新婚旅行のことを考えるなんて ___ 人だ。
 (e)すりの仲間から ___ 真面目に働いている。
 (f)弟は自分の誕生日を忘れられて ___、ご飯を食べようとしなかった。
 (g)みんなの前で先生に注意され ___ ほど恥ずかしかった。
 (h)おじいさんの自慢話には、もう ___。
 (i)お母さんが作ったケーキは ___ ほどおいしい。
 (j)暗い夜道でいきなり犬が飛び出てきたので、 ___ しまった。

- ①気が早い
 ②へそを曲げる
 ③耳にたこができる
 ④足を洗う
 ⑤腰が抜ける
 ⑥ほっぺたが落ちる
 ⑦顔から火が出る
 ⑧手を打つ
 ⑨寝た子を起こす
 ⑩心を鬼にする

問3. 文の中の(a)~(j)に入る擬声語、擬態語を、①~⑩から選びなさい。(10%)

- ①びんびん ②ちびちび ③じりじりと ④のうのうと ⑤こつこつ
 ⑥ぐびぐび ⑦さんさんと ⑧ががつが ⑨がらがら ⑩のこのこと

現在日本で家を買うことはたいへん難しい。どんなに (a) 貯金をしても、都内の家は1億円もするのだから、とても無理だ。最近 (b) 値を下げているとはいうが、それでも普通の人の買える値段ではない。それでもどうしても自分の家がほしいという人は、30年ぐらいのローンで郊外に家を買う。ローンがなければ気楽に暮せる人も、ローンのためにいろいろと我慢することが多くなる。たとえば、それまで (c) 飲んでいたお酒を (d) 飲むようにするとか。また、親が (e) しているうちは、できるだけ助けをもらうようにする。たとえば、家族揃って (f) 親の家に行き、出されたものは何でも (g) 食べてくるとか。こうして手に入れた家は、近くの駅まで30分、駅から会社まで1時間半ぐらいかかるから、(h) 朝ご飯を食べるにはいけない。まだ (i) の電車に乗ってご出勤である。それでも、(j) と日が差し込む自分の家の庭先で、くつろげる日が週に三日もあるのだから、30年のローンなど何でもないことなのかもしれない。

二、次の文型を使って文を作りなさい(15%)

- ①~どころか
 ②~ばかりに
 ③~だけあって
 ④~と相まって
 ⑤~とはいえ

本試題係両面印刷

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

顔が醜いからといって、それを直すために整形を①施す必要などはないだろう。「蓼食う虫も好き好き」という世の中では、むだなものは何一つない。どんなに顔が醜くても、またそれ相応の天職もあるだろう。

しかも人の②容貌というのは、心の作用によって少なくともその表情を変えることができる。そして人の顔色を読むには、③骨格や肉付きがどうなっているかよりも、むしろその表情に頼ることのほうが多い。米国の大統領リンカーンは有名な醜男であった。しかし、親しくこの人に接した者は、彼の青ざめた顔や大きな口、くぼんだ目などは忘れて、その慈愛に富んだ表情にのみ④魅了されたという。

〔a〕の改造はできなくても、〔b〕の改良はできる。もちろん、〔c〕を改良したからといって、ただちにそれが〔d〕に現れることはないかもしれない。また、相手が容貌と心との見分けのつかないような人なら、結局のところ、親しく接してくれないかもしれない。だが、(A)『「外部の顔のために、何を苦しんでいるのか。どうしてこんなものために進取の⑤気性を奪われ、いたずらに⑥卑屈で引込み思案になっているのか」と思えるくらいになれば、心もはればれとしてくるに違いない。』

また、外部に表せない秘密を持っている場合も同じである。(B)『道徳上恥じるにたりない秘密、すなわち自分の心に照らして恥ずかしくない秘密ならば、⑦暴露したところで一時の笑い話となるか、ちょっとしたご愛嬌ですむだろう。そのために心を痛み、胸を苦しめ、人に顔を見られるのを恐れるにはあたらぬ。』

田舎から上京した人は、東京の流儀を知らないために、何かにつけて⑧無礼な振る舞いをするのではないかと心配する。だが、自分の心に尋ねてみて、人に無礼に働く念が少しもなければ、動作がぎこちなくても人は許すだろう。また、自分の良心も必ずそれを許すものである。

問1. ①～⑧の言葉に振り仮名をつけなさい。(8%)

問2. 「蓼食う虫も好き好き」とはどういう意味か、日本語で説明しなさい。(3%)

問3. 〔a〕～〔d〕に入る言葉として、「心」と「顔」のどちらが適当か選びなさい。(4%)

問4. (A) (B) 『 』の中の文を中国語に訳しなさい。(6%)

問5. 「相手が容貌と心との見分けのつかないような人」とはここではどういう人か、説明しなさい。(2%)

問6. 「それ」は何を指しているのか。(2%)

四、次の文章を読んで、①内容を200字以内で要約しなさい。(10%)

本試題係両面印刷

②あなたの感想を500字以内で述べなさい。(20%)

自分らしく

「慣れ」と同時に、障害者に対する心のバリアを取り除くために必要なのは、他人をめる心だと思ふ。欧米では、障害者が暮らしやすい社会が築かれていると言うが、それも他人を認める心があるからだろう。さまざまな民族がひとつの国家で生活をしていす米では、他人と違うといった理由で否定をしていたら、きりが無い。そこで、障害者のようなマイノリティに対しても、「多様性」という観点から、障害をその人の「特徴」として受け入れていくのだ。

日本は、どうだろうか。欧米とは違い、日本人はほぼ単一民族として生きてきた。それが同じであることが原則とされ、そこからはみ出ることを極度に恐れる。そして、は出た人間に対して待っているのは、差別や偏見。このような社会では、障害者が受けられるのはむずかしいだろう。

今、中学校を中心として起こっている「いじめ」の問題。そのほとんどが、「アイツ、オレたちとここが違うから」といったことが原因であると言われている。もし、子どもちが他人を認めることのできる心を持ってくれば、こうしたいじめの大半が解決するだろう。「みんなが違う」のはあたりまえなのだ。

そして、他人を認める心の原点は、自分を大切にすることだ。ボクが、バリアフリー目指す活動を始めるようになったのは、「ボクには、ボクにしかできないことがある」という想いからだ。しかし、それはボクだけに限られたものではない。誰にも、一人にしかできないことがあるはずなのだ。「自分の役割」に若いうちに気付く人もあれば、年を重ねていくうちに気付く人もいるだろう。なかには、死を迎える時になって「ああ、自分の役割とは、あのことだったんだ」と気付く人もいるはずだ。ボクの場合「障害」という分かりやすい目印があったために、自分の役割に気付いたのが、たまたまかったのだらう。それに気付く時期は、人によってさまざまなものかもしれない。だが、誰しもが「自分の役割」を持っているのだ。

それもそのはずだ。日本中、いや、世界中を見渡したところで、自分とまったく同じ間などないわけがない。たったひとりしかない人間であれば、その人にしかできないとがあって当然なのだ。そうであるなら、ボクらは、もつと自分自身を大切にしなければならぬ。誇りを持たなければならぬ。

今の子どもたちは、すぐに「どうせ、俺なんて成績が悪いし」「どうせ、私なんて美しくないし」といった「どうせ自分なんて」という言葉を口にする。しかし、もしも彼が、自分はひとりしかない、かけがえのない存在なんだと、自分を誇りに思えるようになれば、「どうせ自分なんて」という自ら人生をつまらなくするような言葉は口にしなくなるだろう。

そして、自分の存在を認められるようになれば、自然に、目の前にいる相手の「相手しさ」も認めることができるようになるはずだ。自分も、たったひとりの自分であるように、この人も、たったひとりしかない、大切な存在なんだと。

障害者が暮らしやすい、バリアフリー社会を創るためだけではない。すべての人が、与えられた命を無駄にすることなく、その命を最大限に活かして生きていくためにも、自らしさを失わず、自分に誇りを持って生きていくことを望みたい。

そしてボク自身、「心のバリアフリー」に少しでも貢献していくことで、自分に誇りを持って生きていけるようになりたいと願っている。(〇武井匡「五体不満足、より」)